

特集1

自己破壊的な嗜癖行動をどう捉え、 どうかかわればよいのか

「自傷・嗜癖をどうとらえるか、自己治療仮説の考え方」 松本俊彦
「トラウマをかかえる女性物質依存症者の治療にかかわって」 森田展彰
「綱引きにならない治療導入のために。動機づけ面接」 佐久間寛之
「自傷に対する“応急処置”的認知行動療法」 伊藤絵美
「治療関係における“安全さ”を求めて。トラウマ臨床における配慮」 宮地尚子

特集2

こうすればできる当事者研究。 そろそろ方法の話しよう

「当事者研究をするとなぜ人は元気になるのか。どうやって私は研究をファシリテートしているか」 向谷地宣明
「リカバリーと当事者研究」 丹羽真一
「ケアする人こそやってみよう当事者研究。多汗現象の研究」 小松詩織

ときどき連載

なぜ話す対象は
人間である必要があるのか
◎春日武彦

ときたま連載

音吉。私、「音叉」にハマってます。
◎杉山悠

ほぼほぼ連載

イネ!その業務改善
朝のミーティングを改善
◎小野悟

編集後記

「精神看護学教育」特集、いかがでしたか? この特集は、取材で一緒に学校の先生から言われた言葉「他の先生がどんな方法で精神看護学の授業をしているのか、知りたい」がきっかけとなって生まれた特集です。▼学校教育のことを特集するのは本誌初です。事情を聞くまでは、精神看護学を教える先生が、普段モデルにする人もヒントもなしに、1人で授業を考案しているなんて思ってもみなかったのです。そんな孤独な先生をレスキューしたい!と思い、雑誌の使命として、今回はヒントになりそうな「私の方法、工夫」をできるだけ集めることにしました。▼そういえば精神科臨床の看護師さんは、学校の先生になったり、また臨床へ戻ったりを繰り返しますよね。それに病院には新人さんも来ますし、臨床実習の学生も来るのですから、彼らが学校でどんな教育を受けているのかは、関心があるはず。(^▽^o3
▼今月号を読まれて、精神看護学に関して「もっとこういう内容を書いてほしい」という要望があったら、本誌あてにメールをください。また考えていきたいと思います。seikan@igaku-shoin.co.jp (石川)

*予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

精神看護 第18巻第5号 2015年9月15日発行(隔月刊) 発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2015, Printed in Japan 販売部: ☎03-3817-5659

「精神看護」編集室: ☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当: 石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

本文・表紙デザイン: 高見清史 (view from above) 表紙写真: 齋藤陽道 印刷・製本: 株式会社アイワード

1部定価: 本体1,300円+税 2015年間購読料(送料弊社負担、年間6冊): 本体7,080円+税(冊子版)/本体10,080円+税(冊子+電子版/個人)/本体11,160円+税(冊子+電子版/共有)/本体7,080円+税(電子版/個人)/本体8,160円+税(電子版/共有)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】(出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@copy.or.jp)の許諾を得てください。

*「精神看護」は、株式会社医学書院の登録商標です。